

子どもたちを、まちを、元気にする「とちぎ未来アシストネット」

活動主体名 各エリア地域アシストネット本部(9エリア)

自治体名 栃木県栃木市

関係する学校 栃木市内小中学校(40校)

基本データ

活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	家庭教育支援	その他
○			

(平成 23 年度実績)

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	47	66	23	○
放課後子ども教室	コーディネーター数	ボランティアのべ人数	開始年度	補助の有無
	実施場所	子どもの平均参加人数	年間開催日数	児童クラブとの連携
家庭教育支援	教育活動支援員等の数	活動拠点	年間活動日数	補助の有無

活動の概要

栃木市内の各小中学校では、地域の方々が学校の応援団となり、子どもたちの学習を支援するための取組が行われています。地域のボランティアが、自分の知識や技能、経験を生かして、読み聞かせや昔遊びの紹介等の活動を行い、子どもたちの学びを充実させてくれています。特に、子どもたちがつまづきやすいミシンの操作や裁縫などの実習では、一人一人の必要に応じた対応ができるので、学習の効果が上がっています。

表題の「とちぎ未来アシストネット」は、原則中学校区ごとに地域アシストネット本部(9エリア)を設置し、学校・家庭・地域の固い絆を基盤に、各種ボランティアを組織的・効果的に機能させ、子どもたちを支援する教育システムです。未来を担う子どもたちのために、教職員・保護者・地域の方々がしっかりと強い絆を結び、地域ぐるみの教育を行います。多くの方々が子どもたちの教育に関わることで、地域の絆が深まり活力が生まれます。



ミシンの操作を教える地域のボランティア



百人一首を教える地域のボランティア



カッターの使い方を教える地域のボランティア



苗の植え付けを教える地域のボランティア

取組の変遷

準備・立ち上げ期

◇課題

- ・市町合併による市域の広大化
- ・本事業に対する市職員、教職員、地域住民の認知
- ・各小中学校ごとに活動の中心となる人材の発掘



◇解決に向けた取組等

- ①プロジェクトチームの結成(教育総務課、学校教育課、生涯学習課等から担当者を選出)
- ②新市の教育方針として、未来を担う子どもたちを育むために学校・家庭・地域の三者による地域ぐるみの教育(とちぎ未来アシストネット)を中核に据えて推進していくことを説明(定例校長会、教頭会)
- ③研修の実施による地域コーディネーターの養成
- ④地域ぐるみの教育(とちぎ未来アシストネット)を推進するための組織設立準備

基盤形成期

◇課題

- ・教職員の意識改革
- ・本事業に対する地域住民の認知



◇解決に向けた取組等

地域ぐるみの教育を推進するための体制

- ①地域ぐるみの教育を全市的な視点から推進する組織(推進委員会)を設置
- ②地域の実情に応じて地域教育協議会を9つのエリアに設置
- ③小中学校全40校に地域の窓口となる地域コーディネーター(地域住民)と学校の窓口となる学校コーディネーター(教職員)を配置
- ④地域コーディネーター同士のつながりをつくる連絡会議をエリアごとに実施

地域ぐるみの教育を推進するための意識改革

- ①教職員や地域コーディネーターへの情報提供として「アシストネットだより」を発行
- ②市内の地域教育協議会関係者が一堂に集まり推進大会を実施
- ③学校コーディネーターを対象とした研修会を実施
- ④市内全教職員、保護者、アシストネット関係者等を対象にした研修(講演会)を予定